

随想リレー



「大山15回目の登頂」

内田 昭

頭に百名山とか、伯耆富士と
中国地方で唯一選ばれています
付くとやつと「だいせん」と
読んでくれる。「日本百名山」
は深田久弥さんが何百山も
登つて、すばらしいと思った
山を百個選んだものです。発
いはと、同窓会のついでにま
た。私は1人でしたが、先に
登つた小4の子にシャンター
を頼まれたついでに、自分も
写真的の出来はいまいち、午後
は逆行で、しかも山名や高さ
の表示が銅版なので、暗く写
ります。百名山山頂を目指す
人の記念のために、もう少し鮮明な標識が2箇所にあ
ります。

大山と書くと関東では
おおよそと読む人が多い。神
奈川県の秦野の先に江戸時代
から信仰の山として、また雨
降山の別名もある有名な大山
「おおやま」が有つて、まず
これが浮かぶらしい。しかし
筑波山と開聞岳です。大山は



▲クルーズ船(写真提供:シンガポール政府観光局)

シンガポールに学ぼう
外国の富裕層を鳥取に

わが鳥取県の観光資源
に強い関心を示すシンガ
ポールと鳥取県の仲を取り
持つと懸命に活動して
いる県人会員がいる。

わが鳥取県

の出身で、東京米城会
(米子東高同窓会) 会長でも
ある山田章さん(72)。写真
II。山田さんは株式会社セイ
コーの現地法人社長だった関
係から社団法人「日本シンガ
ポール協会」理事長を務め、
お世話をうけた生まれ故郷と
海外勤務地双方に少しでも恩
返しが出来ればとその仲介
活動に情熱を燃やしている。

山田さん

が、山田さん

